



2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL http://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 義兼
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 北越 達男 TEL 079-289-4411
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	2,314	△13.1	△53	ー	△52	ー	△34	ー
2019年5月期第1四半期	2,662	25.3	72	150.8	75	155.5	51	158.4

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 △42百万円 (ー%) 2019年5月期第1四半期 51百万円 (159.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	△5.95	ー
2019年5月期第1四半期	8.94	8.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	4,319	2,591	59.4	436.03
2019年5月期	4,522	2,744	60.7	470.38

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 2,567百万円 2019年5月期 2,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00
2020年5月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年5月期(予想)	ー	0.00	ー	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,840	△18.4	240	△39.0	238	△39.9	156	△42.6	26.86
通期	12,100	9.5	600	△8.1	597	△9.3	392	△9.1	67.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）SANKI-SONADEZI JOINT STOCK COMPANY、除外 1社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期1Q	5,887,385株	2019年5月期	5,834,285株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	143株	2019年5月期	143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期1Q	5,848,387株	2019年5月期1Q	5,789,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善とそれに伴う雇用情勢の改善により、設備投資の増加や個人消費の持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調となりました。一方、消費税率の引き上げや、中国経済の減速、米中の貿易摩擦による景気減速懸念等、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ提案や、突発的な故障の発生を減少させるための保全メンテナンスの要望が多くなってきており、また、当社グループがメインターゲットとしている小売業や飲食業を中心とした多店舗展開企業では、メンテナンス管理の一括アウトソーシング化のニーズも高まってきております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたすべての設備機器を対象とするサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止するための保全メンテナンスや機器入替、また、環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行ってまいりました。

また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（特定の設備機器のみならず数種の設備機器を扱うことができる事）により生産性を向上させるため、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主要顧客を中心に前第1四半期連結累計期間の猛暑の反動により修理件数が減少したこと等により2,314,410千円（前年同期比13.1%減）、売上原価1,812,476千円（前年同期比15.8%減）となりました。また、販売費及び一般管理費は、体制強化のための人員補強による人件費及び採用費の増加、並びにベトナム合弁会社が新たに連結子会社となったこと等により555,618千円（前年同期比26.6%増）となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失は53,684千円（前年同期は72,014千円の営業利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常損失は52,963千円（前年同期は75,621千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は34,809千円（前年同期は51,727千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ253,716千円減少し3,123,632千円となりました。主な要因は、現金及び預金が293,282千円減少したこと等によりです。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ50,938千円増加し1,195,605千円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ202,778千円減少し4,319,238千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ36,577千円減少し1,356,881千円となりました。主な要因は、未払法人税等が85,271千円減少したこと等によりです。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ13,145千円減少し370,588千円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ49,723千円減少し1,727,469千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ153,055千円減少し2,591,769千円となりました。主な要因は、配当金を175,024千円支払ったこと等によりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,602	995,320
受取手形及び売掛金	1,870,681	1,820,753
未成工事支出金	35,569	115,668
原材料及び貯蔵品	43,095	45,129
その他	140,441	147,756
貸倒引当金	△1,041	△995
流動資産合計	3,377,349	3,123,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	241,803	238,474
土地	93,797	93,797
その他(純額)	39,972	36,038
有形固定資産合計	375,574	368,310
無形固定資産	320,277	360,384
投資その他の資産		
投資有価証券	167,558	167,681
長期前払費用	100,054	101,359
退職給付に係る資産	23,107	23,458
繰延税金資産	94,045	108,124
その他	68,972	71,207
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	448,816	466,909
固定資産合計	1,144,667	1,195,605
資産合計	4,522,017	4,319,238
負債の部		
流動負債		
工事未払金	827,712	745,017
1年内返済予定の長期借入金	59,992	59,992
未払法人税等	94,000	8,728
賞与引当金	100,000	78,131
その他	311,754	465,011
流動負債合計	1,393,458	1,356,881
固定負債		
長期借入金	40,036	25,038
退職給付に係る負債	137,006	139,966
資産除去債務	15,633	15,682
長期末払金	156,545	156,545
その他	34,512	33,356
固定負債合計	383,733	370,588
負債合計	1,777,192	1,727,469

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,940	586,887
資本剰余金	454,440	472,387
利益剰余金	1,722,888	1,513,054
自己株式	△230	△230
株主資本合計	2,746,038	2,572,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△446	△455
為替換算調整勘定	△1,352	△4,602
その他の包括利益累計額合計	△1,799	△5,058
新株予約権	585	—
非支配株主持分	—	24,728
純資産合計	2,744,824	2,591,769
負債純資産合計	4,522,017	4,319,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	2,662,522	2,314,410
売上原価	2,151,486	1,812,476
売上総利益	511,035	501,933
販売費及び一般管理費	439,021	555,618
営業利益又は営業損失(△)	72,014	△53,684
営業外収益		
受取利息	338	312
受取配当金	259	604
受取手数料	316	297
受取家賃	579	679
受取補償金	3,358	—
その他	346	700
営業外収益合計	5,198	2,593
営業外費用		
支払利息	483	527
為替差損	187	504
租税公課	825	750
その他	94	89
営業外費用合計	1,590	1,871
経常利益又は経常損失(△)	75,621	△52,963
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75,621	△52,963
法人税等	23,894	△15,414
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,727	△37,548
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,738
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,727	△34,809

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,727	△37,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	377	△8
為替換算調整勘定	△378	△5,323
その他の包括利益合計	△0	△5,332
四半期包括利益	51,726	△42,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,726	△38,069
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,811

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。